

調査レポート

アジア経済概況(2013年3・4月)

【目次】

. 中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・1-3月期のGDP成長率は7.7%に減速 p.1
- 2. 中国の主要指標解説:消費伸び悩みの背景 p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・景気は持ち直し基調にあるが、テンポは緩やか ... p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・景気は持ち直し基調にあるが、テンポは緩やか ... p.5

. ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・景気の拡大が一服 p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・消費主導の成長が続く p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 p.8
- 4. ベトナム経済の概況・・・1-3月期のGDPは前年比4.9%増に減速 p.9
- 5. インド経済の概況・・・2会合連続で利下げしたインド準備銀行 p.10

- . アジア通貨・株価動向 p.11

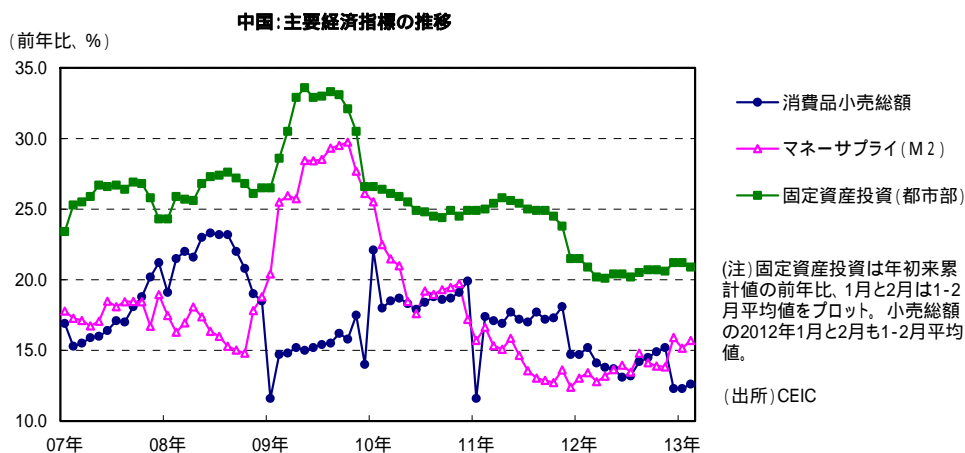
三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 野田 麻里子(担当)、土田 陽介(・担当) (chosa-report@murc.jp)
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2
TEL:03-6733-1070

・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気回復は緩やかなペースにとどまっている。
- ・ 3月の製造業PMI（購買担当者指数）は50.9ポイントと前月から0.8ポイント持ち直し、10月以降6ヶ月続けて景気の拡大と縮小の分岐点となる50ポイントを上回った。PMIを構成指数である新規受注と生産がそれぞれ2.2ポイントと1.5ポイント改善したほか、参考指標である新規輸出受注指数も3.6ポイント改善して3ヶ月ぶりに50ポイントを上回り景気回復期待が大きく高まった。
- ・ しかし、その後発表された1-3月期の実質GDP成長率は前年比7.7%と10-12月期の同7.9%から再び減速した。前期比年率では10-12月期の8.2%から1-3月期6.6%に大幅鈍化しており、景気回復力の弱さが示唆されている。
- ・ 実際、3月の小売売上は前年比12.6%増と1-2月期の同12.3%増より持ち直したものの、10-12月期同14.5%増に比べると低い伸び率にとどまっている。また、固定資産投資は前年比2割増のペースは維持しているものの、1-2月期同21.2%増から1-3月同20.9%と増加テンポが鈍っている。さらに鉱工業生産も1-2月期同9.9%増から1-3月期同9.5%増と伸び率が鈍化しており、景気回復は緩やかなペースにとどまっている。
- ・ こうした中で堅調な輸出（1-3月期前年比18.4%増）と高いマネーサプライの伸び（M2：3月同15.7%増）が景気を下支えしているとみられる。ただし、輸出については、物流拠点としての香港の活用を背景に国内の物の移動が香港向け輸出に一部振り替わっているとみられ、その分輸出総額がかさ上げされている可能性がある点には注意が必要である。
- ・ 一方、消費者物価上昇率は、2月には前年比3.2%と今年目標水準（前年比3.5%前後）近くまで上昇したが、春節要因が剥落し、食品価格の上昇率が低下（2月同6.0% 3月同2.7%）したことから3月には同2.1%に低下した。



【中国・香港の主要経済指標】

			2010年	2011年	2012年	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/1月	13/2月	13/3月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.6	1.9	2.1	2.0	1.6			
		(累計ベース)	前年比%	10.4	9.3	7.8	8.1	7.6	7.4	7.9	7.7			
	消費	名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	17.8	17.8	9.8	11.3	10.4	9.7	9.8	9.6			
		社会消費品小売総額	前年比%	18.4	17.1	14.2	14.9	14.0	13.8	14.5	12.4		12.3	12.6
		うち市(都市部)	前年比%	18.8	17.2	14.2	14.6	14.1	13.9	14.5	12.2		12.1	12.2
		うち県(農村部)	前年比%	16.2	16.6	14.5	16.9	13.3	13.4	14.6	14.0		13.4	15.0
		自動車販売台数	前年比%	32.4	2.5	4.3	3.9	10.0	4.4	6.9	13.1	46.4	13.6	10.7
		うち乗用車(セグ、SUV他)	前年比%	33.2	5.2	7.1	1.8	16.6	6.7	7.4	17.2	48.7	8.3	13.3
		消費者自信指数	期中平均	105.5	103.3	102.4	103.0	102.1	99.5	105.0		104.5	108.2	
		消費者期待指数	期中平均	105.8	106.6	106.9	108.9	106.9	103.1	108.8		110.1	113.3	
	投資	固定資産投資(都市部・500万元以上;年初末累計)	前年比%	24.5	23.8	20.6	20.9	20.4	20.5	20.6	20.9		21.2	20.9
			うち不動産・居住用建物	前年比%	33.5	29.7	22.1	27.0	22.1	21.1	22.1			26.1
		うち国内企業	前年比%	25.6	24.7	21.2	21.4	21.0	21.2	21.2	21.7		22.1	21.7
うち製造業		前年比%	27.0	31.8	22.0	24.8	24.5	23.5	22.0	18.7		17.0	18.7	
うち鉄鋼		前年比%	6.1	14.6	2.0	8.0	9.4	3.9	2.0	7.7		1.9	7.7	
うち輸送機械(自動車)		前年比%	31.7	27.2	32.8	38.6	36.0	34.5	32.8	15.3		8.4	15.3	
うち電気機械		前年比%	40.4	44.6	4.8	11.2	8.3	7.0	4.8	5.5		8.7	5.5	
うち情報通信機器		前年比%	48.2	34.2	12.9	12.4	12.6	14.8	12.9	19.7		19.7	19.7	
直接投資契約件数(累計ベース)		前年比%	16.9	1.1	10.1	9.4	13.1	11.7	10.1		34.3	3.0		
直接投資実行額(累計ベース)		前年比%	12.4	9.7	3.7	2.8	3.0	3.8	3.7		7.3	1.4		
不動産景気指数		期中平均	104.3	101.6	95.6	97.4	95.1	94.5	95.3	97.7		97.9	97.6	
貿易及び外貨準備		貿易収支	10億ドル	181.5	154.9	231.1	0.2	68.4	79.2	82.8	43.5	28.9	15.2	0.9
		輸出(ドルベース)	前年比%	31.3	20.3	7.9	7.6	10.4	4.4	9.4	18.4	25.0	21.8	10.0
	輸入(ドルベース)	前年比%	38.8	24.9	4.3	6.9	6.4	1.4	2.9	8.3	29.0	15.2	14.1	
	対米貿易収支	10億ドル	181.2	202.3	218.9	42.4	57.2	61.4	58.1	41.0	17.2	12.7	11.0	
	対日貿易収支	10億ドル	55.7	46.3	26.2	6.9	7.8	9.0	2.4	1.0	0.9	0.4	1.5	
外貨準備	期末10億ドル	2847.3	3181.1	3311.6	3305.0	3240.0	3285.1	3311.6	3440.0	n.a.	n.a.	3440.0		
生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	15.7	13.9	10.0	11.6	10.5	10.0	10.0	9.5		9.9	9.5	
	うち国有企業	前年比%	13.7	9.9	6.4	7.2	7.0	6.3	6.4	5.2		5.8	5.2	
	うち株式会社	前年比%	16.8	15.8	11.8	13.8	12.4	11.8	11.8	11.3		11.4	11.3	
	うち外商・港台企業	前年比%	14.5	10.4	6.3	6.4	6.3	6.0	6.3	6.9		7.7	6.9	
	発電量	前年比%	14.0	10.9	4.2	6.5	1.2	2.1	7.4	4.2	24.5	12.7	2.1	
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	53.8	51.4	50.8	51.5	51.3	49.7	50.5	50.5	50.4	50.1	50.9	
	うち新規受注	%	55.8	51.9	50.9	52.2	51.2	49.2	50.9	51.3	51.6	50.1	52.3	
	うち雇用	%	51.8	50.2	49.4	49.2	50.4	49.2	49.0	48.4	47.8	47.6	49.8	
新規輸出受注	%	52.8	50.0	49.3	50.0	50.0	47.3	49.8	48.9	48.5	47.3	50.9		
所得	都市一人当たり所得(累計ベース)	前年比%	11.5	14.0	12.4	14.1	13.3	12.9	12.4	8.6				
雇用	労働力市場求人倍率	期末	1.01	1.04	1.08	1.08	1.05	1.05	1.08	1.10				
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	34.5	40.4	40.8	43.5	41.7	38.9	40.8	43.4				
物価	消費者物価指数	前年比%	3.3	5.4	2.7	3.8	2.9	1.9	2.1	2.4	2.0	3.2	2.1	
	うち食品	前年比%	7.2	11.8	4.9	8.1	5.7	2.8	3.0	3.9	2.9	6.0	2.7	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	0.0	2.4	1.9	2.4	2.0	1.8	1.6	1.6	1.5	1.6	1.6	
金融	生産者物価指数	前年比%	5.5	6.1	1.7	0.1	1.4	3.3	2.3	1.7	1.6	1.6	1.9	
	マネーサプライ(M2)	前年比%	19.7	13.6	13.8	13.4	13.6	14.8	13.8	15.7	15.9	15.2	15.7	
GDP	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	1.67	3.14	2.80	3.30	2.65	2.73	2.50	2.34	2.13	2.59	2.31	
	株価指数(上海総合)	期末	2,808	2,199	2,269	2,263	2,225	2,086	2,269	2,237	2,385	2,366	2,237	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.77	6.46	6.31	6.31	6.31	6.33	6.30	6.28	6.28	6.28	6.27	
	為替レート(円/元)	期中平均	12.9	12.3	12.6	12.5	12.7	12.4	12.9	14.7	14.2	14.8	15.1	
	実質GDP成長率	前年比%	6.8	4.9	1.4	0.8	1.0	1.4	2.5					
消費	うち民間消費	前年比%	6.3	9.0	4.0	6.3	2.8	2.8	4.1					
	うち固定資本形成	前年比%	7.7	10.2	9.1	12.5	5.7	8.3	10.5					
貿易	名目GDP成長率	前年比%	7.1	9.0	5.4	4.5	3.9	5.7	7.2					
	小売販売数量指数	前年比%	15.6	18.5	7.1	11.0	7.1	4.2	6.4		19.8	13.0		
物価	貿易収支	10港HKドル	335	426	478	99	123	121	135		27	34		
	輸出(香港ドルベース)	前年比%	22.7	10.2	2.9	1.5	1.8	3.8	7.0		17.6	16.9		
金融	輸入(香港ドルベース)	前年比%	25.0	11.9	3.9	0.7	2.1	4.5	8.1		23.9	18.3		
	消費者物価指数	前年比%	2.3	5.3	4.1	5.2	4.2	3.1	3.8		3.0	4.4		
金融	マネーサプライ(M3)	期末%	5.3	12.8	10.3	13.2	8.7	9.0	10.6		12.4	9.8		
	ハンセン指数	期末ポイント	23,035	18,434	22,657	20,556	19,441	20,840	22,657	22,300	23,730	23,020	22,300	

(出所) CEIC (注) 小売総額の内訳は2010年以降、上段(都市部)、下段(農村部)。固定資産投資統計の基準は2011年以降500万元から500万元に変更。

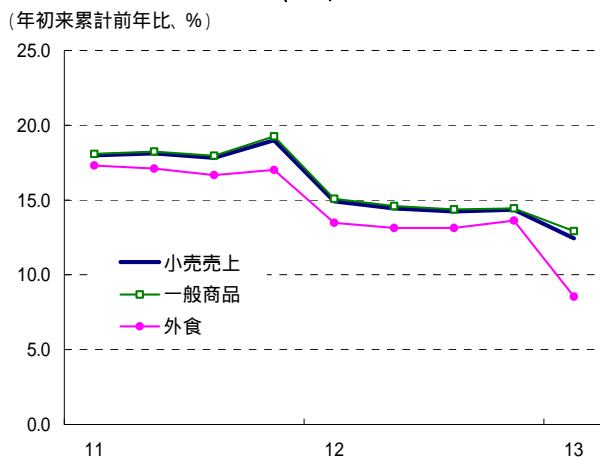
2. 中国の主要指標解説：消費伸び悩みの背景

習近平主席が反腐敗対策の一環として推進する倹約令が足元の消費の伸び悩みにつながっているとの見方がある。確かに消費動向を示す小売上の推移をみると、足元、一般商品に比べて外食の伸び率鈍化が顕著である（図表1）。小売上に占める外食の割合は約1割にすぎないため、これだけで消費の伸び悩みは説明できない。もちろん、新聞報道などにあるように一般商品に含まれる高級品の売上の減少もみられることを勘案すれば、倹約令が消費の重石となっている可能性はある。

しかし、倹約令の影響に加えて、成長率の鈍化とともに所得の伸びが低下していることが全般的な小売上の伸び悩みにつながっていると考えられる（図表2）。

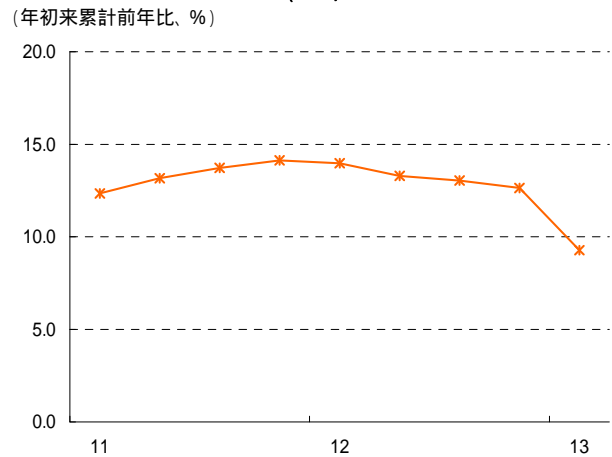
ただし、実質ベースでみると小売上はほぼ安定的に推移している（図表3）。また消費の成長率への寄与度も底堅く推移しており（図表4）、消費者マインドが悪化しているわけではなさそうである。物価が安定していることも実質消費の拡大を支えているといえそうである。

図表1. 小売上費目別前年比の推移
(名目)



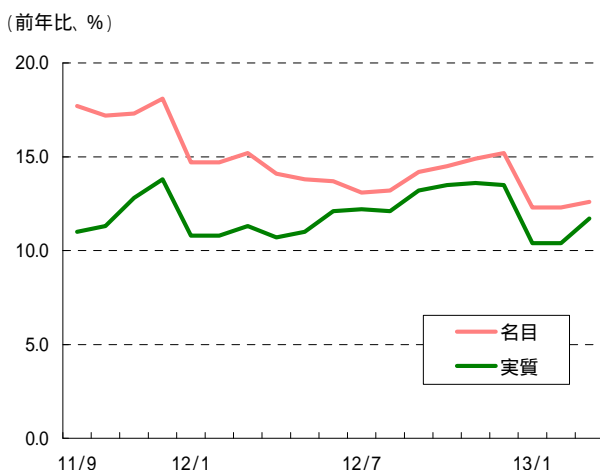
(出所)CEIC

図表2. 都市部の一人当たり可処分所得の推移
(名目)



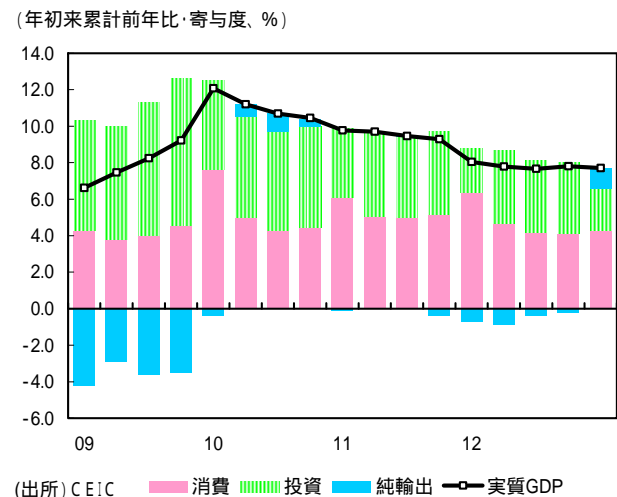
(出所)CEIC

図表3. 小売上前年比(月次)の推移



(出所)CEIC

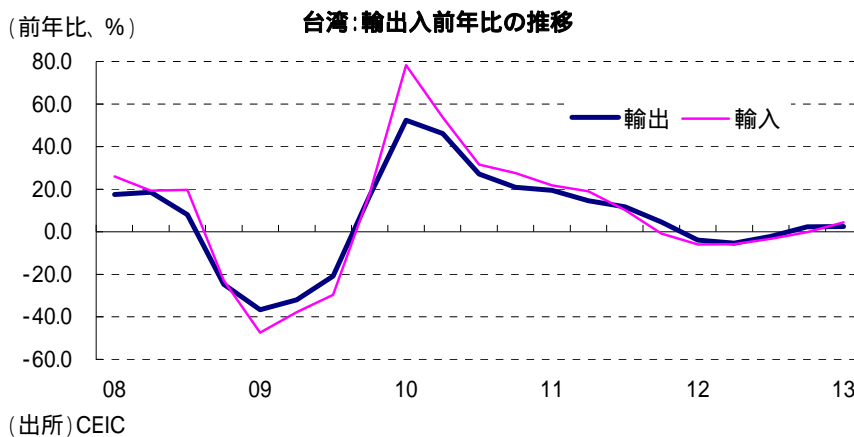
図表4. 実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移
(四半期)



(出所)CEIC

3. 台湾経済の概況

- ・ 景気は持ち直し基調にあるが、そのテンポは緩慢なものにとどまっている。
- ・ 2月の景気対策信号は1月より1ポイント上昇したものの、引き続き「停滞注意」の「黄青」信号が点灯している。「停滞」局面は脱したものの、持ち直しは緩慢だ。
- ・ 3月の輸出は1-2月期の前年比2.0%増から同3.3%増に持ち直した。米国・EU向けはそれぞれ同1.9%減、同12.6%減と不振だったが、半導体や液晶パネルを中心に中国向けが同6.0%増加するなどアジア向けで増加基調が続いている。また輸出の持ち直し傾向を受け、設備投資と連動する機械類の輸入が大幅に増加している(3月同14.4%増、1-3月期同13.8%増)。
- ・ 3月の消費者物価上昇率は前年比1.4%と春節の影響で同3.0%に加速した前月から低下した。台湾中銀は3月28日、世界経済の先行きに依然として不透明感がある一方、景気回復が緩慢な中で国内インフレ圧力は抑制されているとして7回連続となる政策金利の据置き(1.875%)を決めた。



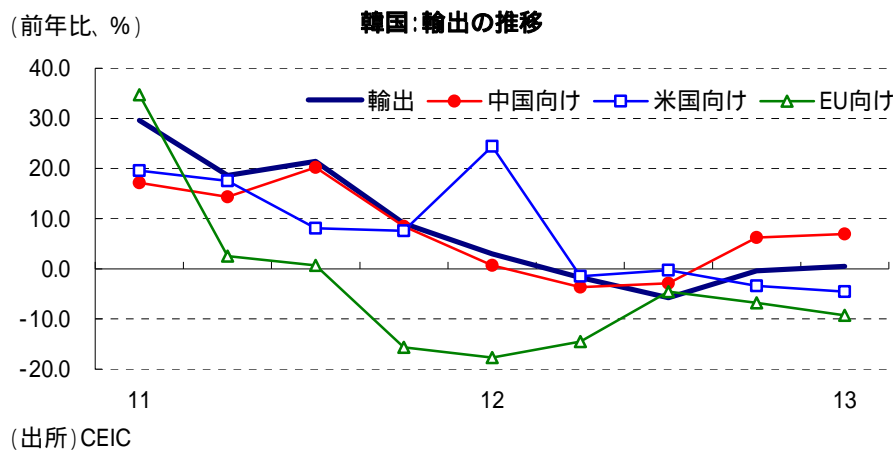
【台湾の主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/1月	13/2月	13/3月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				1.2	0.0	1.0	1.8				
	(前年比)	10.8	4.1	1.3	0.6	0.1	0.7	3.7				
	うち民間消費	4.0	3.1	1.5	1.9	1.6	0.9	1.6				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	21.1	3.1	4.4	10.2	7.7	0.9	1.3				
生産	鉱工業生産(yoy)	26.9	5.0	0.1	4.5	1.3	1.5	4.2		19.0	11.4	
消費	卸小売販売指数(yoy)	5.3	0.9	0.2	2.8	0.1	0.9	3.0		10.3	5.4	
貿易及び対外関連	貿易収支(10億ドル)	23.4	26.8	30.7	5.8	5.7	8.5	10.8	4.6	0.5	0.9	3.2
	輸出(yoy)	34.8	12.3	2.3	3.9	5.4	2.2	2.4	2.4	21.6	15.8	3.3
	輸出受注(yoy)	26.1	7.2	1.1	1.5	3.1	1.4	7.6		17.9	14.5	
	輸入(yoy)	44.1	12.0	3.9	5.9	5.9	3.4	0.1	4.4	22.2	8.5	0.2
	経常収支(10億ドル)	39.9	41.2	49.6	10.9	10.8	11.9	16.0				
	外貨準備高(10億ドル)	382	386	403	394	391	398	403	402	407	404	402
雇用	失業率(季調値)	5.2	4.4	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2		4.2	4.2	
物価	消費者物価(yoy)	1.0	1.4	1.9	1.3	1.6	2.9	1.8	1.8	1.1	3.0	1.4
金融	M2-サプライ(M2,yoy)	5.4	4.8	3.5	5.1	4.2	3.7	3.5		2.9	3.7	
	株価指数(加権指数)	8,973	7,072	7,700	7,933	7,296	7,715	7,700	7,919	7,850	7,898	7,919
	短期金利(オーバーナイト)	0.18	0.34	0.42	0.40	0.50	0.41	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
	為替レート(NTドル/ドル)	31.6	29.5	29.6	29.7	29.7	29.9	29.2	29.5	29.2	29.7	29.8
	為替レート(円/NTドル)	2.77	2.70	2.69	2.67	2.70	2.63	2.78	3.12	3.05	3.14	3.18

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 景気は持ち直し基調にあるが、そのテンポは緩やかなものにとどまっている。
- ・ 3月の輸出は中国向け輸出の増加から前年比+0.2%増に持ち直した。1-3月期ベースでも中国向けの輸出の回復から1年ぶりに前年比増となったものの、先進国向けの輸出が依然として不振のため、全体としては同0.5%増の微増にとどまった。
- ・ 朴槿恵政権は3月末に今年の成長率見通しを12月時点の3.0%から2.3%に大幅に下方修正した。韓国の潜在成長率は約4%とみられているが、見通し通りとなれば、昨年に続いてこれを大幅に下回る2%台の低成長となる。こうした中で政府は4月16日に5.3兆ウォンの景気刺激策を含む総額17.3兆ウォンの補正予算を策定した。
- ・ 一方、韓国中銀は4月11日に大方の利下げ予想に反して、6ヶ月連続となる政策金利の据置き(2.75%)を決めた。ただし、同時に中小企業向け特別融資枠を9兆ウォンから12兆ウォンに拡大することを決め、国内景気への配慮姿勢を示した。



【韓国の主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/1月	13/2月	13/3月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.8	0.3	0.0	0.3				
	(前年比)	6.3	3.7	2.0	2.8	2.4	1.6	1.5				
	うち民間消費支出	4.4	2.4	1.7	1.3	1.0	1.7	2.7				
	うち固定資本形成	5.8	1.0	1.7	3.7	2.6	2.5	4.2				
	うち設備	25.7	3.6	1.9	8.8	3.5	6.9	5.2				
生産	鉱工業生産(yoy)	16.3	5.9	0.9	3.6	1.1	1.0	0.1		7.6	9.3	
消費	小売売上高(数量,yoy)	6.8	4.5	2.3	2.7	1.4	2.6	2.5		3.1	1.8	
貿易及び対外関連	貿易収支(10億ドル)	41.2	30.8	28.3	1.2	9.7	7.5	9.9	5.8	0.5	2.0	3.3
	輸出(yoy)	28.3	19.0	1.3	2.9	1.7	5.8	0.4	0.5	10.9	8.6	0.2
	輸入(yoy)	31.6	23.3	0.9	7.8	2.9	6.9	1.1	3.0	3.9	10.6	2.0
	経常収支(10億ドル)	29.4	26.1	43.1	2.6	11.2	14.6	14.8		2.3	2.7	
	外貨準備高(10億ドル)	292	306	327	316	312	322	327	327	329	327	327
雇用	失業率(季調値)	3.7	3.4	3.2	3.4	3.3	3.1	3.0	3.3	3.2	3.5	3.2
物価	消費者物価(yoy)	2.9	4.0	2.2	3.0	2.4	1.6	1.7	1.4	1.5	1.4	1.3
金融	M2-カブライ(New M2,yoy)	6.0	5.5	4.8	6.4	6.5	5.6	4.8		5.4	5.5	
	株価指数(総合)	2,051	1,826	1,997	2,014	1,854	1,996	1,997	2,005	1,962	2,026	2,005
	CDレート(3ヵ月物)	2.67	3.44	3.30	3.54	3.54	3.22	2.89	2.83	2.86	2.83	2.81
	為替レート(ウォン/ドル)	1,156	1,108	1,127	1,132	1,152	1,133	1,090	1,085	1,065	1,087	1,102
	為替レート(円/100ウォン)	7.5	7.2	7.1	7.1	6.9	6.9	7.6	8.5	8.4	8.5	8.5

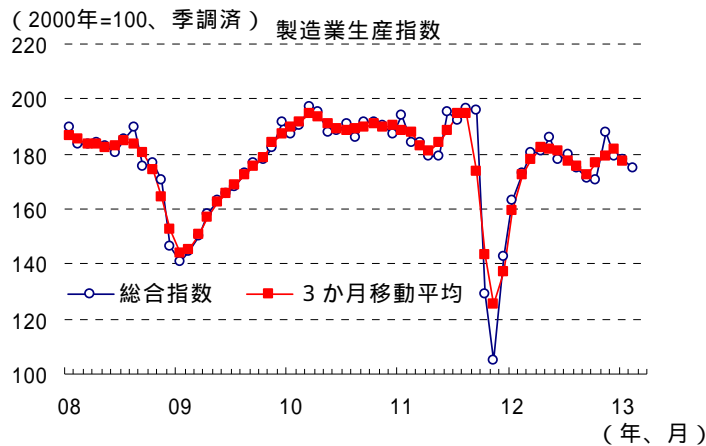
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ タイ景気の拡大が一服している。企業部門では、2月の製造業生産が前年同月比1.2%減と12年9月以来の前年割れとなった。季調済前月比でも1.4%減と前月(同0.8%減)よりマイナス幅が広がるなど、生産は停滞感を徐々に強めている。また2月の民間企業投資も前年同月比9.5%増と前月(同22.2%増)に比べ伸びが大きく減速した。家計部門でも、2月の個人消費が前年同月比3.3%増と再び勢いが鈍化した。また同月の新車(乗用車)販売台数は前年同月比80.1%と、洪水被害の反動増が続いているものの、均してみると増勢が減速している。
- ・ 他方でバブル懸念が強まっていた株価に関しては、3月上旬には19年ぶりの高値を付けたが、その後欧州情勢の不透明化や信用取引規制導入に対する警戒感などが利益確定の動きを誘い、3月末にかけて水準を切り下げた。こうした中でタイ中央銀行は4月3日の会合で、政策金利を現行の年2.75%に据え置いた。

停滞感が徐々に強まる製造業の生産



(出所) 工業省工業経済局(OIE)

【タイの主要経済指標】

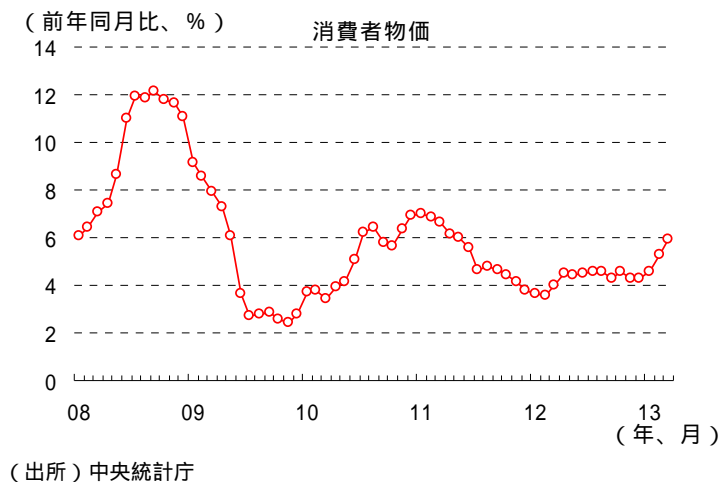
		2010年	2011年	2012年	12/10	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2月	13/3月
GDP (yoy)	実質GDP	7.8	0.1	6.4	0.4	4.4	3.1	18.9			
	民間消費	5.1	1.3	6.7	2.4	5.6	6.8	12.2			
	総固定資本形成	9.4	3.3	13.3	5.2	10.2	15.5	23.5			
生産	製造業生産指数(yoy)	14.3	9.1	2.5	6.8	1.6	11.0	43.8	10.2	1.2	
消費	個人消費指数(yoy)	5.5	3.7	5.6	3.5	4.7	6.8	7.4	6.7	3.3	
投資	民間企業投資指数(yoy)	19.9	8.9	15.2	5.6	16.1	15.4	23.9	22.2	9.5	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	10.4	6.2	18.1	5.2	5.0	1.6	6.3	5.5	1.6	
	輸出(yoy)	26.8	15.1	3.1	1.4	2.0	3.8	18.5	16.1	5.8	
	輸入(yoy)	36.8	25.1	8.2	10.4	9.2	1.7	16.4	40.9	5.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	10.0	5.9	2.7	1.4	2.3	2.7	0.9	2.2	1.6	
	外貨準備高(10億ドル)	165.7	165.2	171.1	168.8	164.6	172.7	171.1	167.7	171.3	169.3
雇用	失業率(季調前)	1.1	0.7	0.7	0.7	0.9	0.6	0.5	0.8	0.6	
物価	消費者物価(総合,yoy)	3.3	3.8	3.0	3.4	2.5	2.9	3.2	3.1	3.4	3.2
	消費者物価(コア,yoy)	0.9	2.4	2.1	2.7	2.0	1.8	1.8	1.5	1.6	1.2
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	10.9	15.1	10.4	13.1	11.2	12.7	10.4		9.7	9.2
	株価指数(SET)	1,033	1,025	1,392	1,197	1,172	1,299	1,392	1,561	1,474	1,542
	インバーン金利(3M)	1.61	3.12	3.08	3.12	3.14	3.13	2.92	2.86	2.87	2.86
	為替レート(円/US\$)	31.7	30.5	31.1	31.0	31.3	31.4	30.7	29.8	30.1	29.8
	為替レート(円/バート)	2.77	2.61	2.57	2.55	2.56	2.51	2.64	3.09	2.96	3.12

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ インドネシア経済は個人消費主導の成長が続いている。2月の小売売上高は前年同月比13.9%増と、前月(同8.2%増)から伸び率を高めた。また新車(乗用車)販売台数も、旧正月要因を除くために1-2月平均で見ると前年比26.4%増となり、12年12月(同21.0%増)から伸びが加速している。
- ・ 他方で、企業の生産は減速基調にある。2月の製造業生産は前年同月比5.6%増と、前月(同11.2%増)から伸びが大きく鈍化した。さらに同月の名目輸出も前年同月比4.5%減と、マイナス幅が再び拡大した。石油・ガスの不調(同24.3%減)が輸出全体のブレーキになっている。
- ・ 物価動向をみると、3月の消費者物価上昇率が前年比5.9%と11年5月以来の高い伸びとなった。穀物輸入への規制が物価高を促したかたちだが、インフレ圧力は旺盛な内需を反映して着実に高まっている。中銀は4月の会合で利上げを見送ったが、通貨安などの要因もあり、物価は先行きも強含みとなる公算が大きい。

高まるインドネシアのインフレ圧力



【インドネシアの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/10	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/1月	13/2月	13/3月
GDP (yoy)	実質GDP	6.2 [!]	6.5 [!]	6.2	6.3 [!]	6.4 [!]	6.2 [!]	6.1 [!]				
	民間消費支出	4.7 [!]	4.7 [!]	5.3	4.9 [!]	5.2 [!]	5.6 [!]	5.4 [!]				
	総固定資本形成	8.5 [!]	8.8 [!]	9.8	10.0 [!]	12.5 [!]	9.8 [!]	7.3 [!]				
生産	製造業生産(yoy)	4.4 [!]	4.1 [!]	4.1	1.7 [!]	2.0 [!]	1.6 [!]	11.2 [!]		11.2 [!]	5.6 [!]	
消費	小売売上(yoy)	n.a. [!]	9.0 [!]	14.6	13.1 [!]	11.3 [!]	16.2 [!]	17.2 [!]		8.2 [!]	13.9 [!]	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	22.2 [!]	26.1 [!]	1.6	2.8 [!]	2.3 [!]	0.5 [!]	2.7 [!]		0.1 [!]	0.3 [!]	
	輸出(yoy)	35.5 [!]	28.9 [!]	6.6	6.9 [!]	9.0 [!]	14.1 [!]	8.3 [!]		1.2 [!]	4.5 [!]	
	(除く石油ガス,yoy)	33.1 [!]	24.8 [!]	5.5	3.9 [!]	8.8 [!]	10.1 [!]	6.1 [!]		2.4 [!]	0.9 [!]	
	輸入(yoy)	40.1 [!]	30.8 [!]	8.0	17.9 [!]	13.2 [!]	2.0 [!]	4.9 [!]		6.2 [!]	3.0 [!]	
国際収支	経常収支(10億ドル)	5.1 [!]	1.7 [!]	24.2	3.1 [!]	8.0 [!]	5.3 [!]	7.8 [!]				
	外貨準備高(10億ドル)	89.8 [!]	103.4 [!]	105.3	103.1 [!]	99.4 [!]	102.6 [!]	105.3 [!]	97.5	101.2 [!]	97.8 [!]	97.5
物価	消費者物価(yoy)	5.1 [!]	5.4 [!]	4.3	3.7 [!]	4.5 [!]	4.5 [!]	4.4 [!]	5.3	4.6 [!]	5.3 [!]	5.9
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	15.4 [!]	16.4 [!]	14.9	18.8 [!]	20.9 [!]	18.2 [!]	14.9 [!]		14.4 [!]	15.0 [!]	
	株価指数(総合)	3,704 [!]	3,822 [!]	4,317	4,122 [!]	3,956 [!]	4,263 [!]	4,317 [!]	4,941	4,454 [!]	4,796 [!]	4,941
	中銀債金利(3カ月)	6.50 [!]	6.00 [!]	5.75	5.75 [!]	5.75 [!]	5.75 [!]	5.75 [!]	5.75	5.75 [!]	5.75 [!]	5.75
	為替レート(円/100比ア)	9,078 [!]	8,773 [!]	9,419	9,088 [!]	9,412 [!]	9,544 [!]	9,630 [!]	9,695	9,698 [!]	9,667 [!]	9,719
	為替レート(円/100比ア)	0.96 [!]	0.91 [!]	0.85	0.88 [!]	0.84 [!]	0.82 [!]	0.86 [!]	0.95	0.94 [!]	0.96 [!]	0.97

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、製造業生産は2011年より新基準。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/10	12/20	12/30	12/40	13/10	13/1月	13/2月	13/3月
GDP (yoy)	実質GDP	7.2	5.1	5.6	5.1	5.6	5.3	6.4				
	民間消費	6.6	7.1	7.7	7.4	8.8	8.5	6.1				
	総固定資本形成	10.4	6.5	19.9	16.2	26.1	22.7	14.9				
生産	鉱工業生産(yoy)	7.2	1.2	4.2	3.5	4.9	2.4	5.6		5.2	4.5	
消費	自動車販売台数(yoy)	12.7	0.8	4.6	12.6	17.3	2.7	12.9		34.5	2.2	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	34.1	40.6	30.7	9.7	6.8	5.5	8.7		1.1	2.6	
	輸出(yoy)	26.5	15.0	0.3	3.4	0.4	4.7	0.7		6.0	10.0	
	輸入(yoy)	33.1	14.2	4.9	6.3	5.3	3.9	4.0		18.8	6.7	
国際収支	経常収支(10億ドル)	27.3	31.7	19.4	5.9	3.1	3.0	7.5				
	外貨準備高(10億ドル)	95.9	120.2	126.4	122.0	121.6	124.3	126.4	126.8	126.8	127.1	126.8
雇用	失業率(%)	3.3	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1		3.3	0.0	
物価	消費者物価(yoy)	1.7	3.2	1.7	2.3	1.7	1.4	1.3		1.3	1.5	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	7.2	14.6	9.5	15.2	13.6	13.0	9.5		9.7	9.3	
	株価指数(総合)	1,519	1,531	1,689	1,596	1,599	1,637	1,689	1,672	1,628	1,638	1,672
	インターバンク金利(1M,%)	2.56	2.97	3.06	3.05	3.06	3.06	3.06		3.07	3.06	
	為替レート(リキ/ドル)	3.22	3.06	3.09	3.06	3.11	3.12	3.06	3.08	3.04	3.10	3.11
	為替レート(円/リキ)	27.2	26.0	25.8	25.9	25.7	25.2	26.5	29.9	29.3	30.1	30.5

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、消費者物価は2006年より新基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/10	12/20	12/30	12/40	13/10	13/1月	13/2月	13/3月
GDP (yoy)	実質GDP	7.6	3.9	6.6	6.3	6.0	7.2	6.8				
	民間消費支出	3.4	6.3	6.1	5.1	5.9	6.3	6.9				
	固定資本形成	19.1	0.2	8.7	3.9	11.8	9.0	10.6				
生産	鉱工業生産(yoy)	16.9	2.1	6.7	9.4	4.3	4.1	9.0		5.8	1.3	
消費	自動車販売台数(yoy)	25.6	14.9	10.6	10.2	19.4	8.5	25.3	27.9	47.7	34.2	10.9
輸出入	貿易収支(10億ドル)	3.4	12.2	9.7	2.6	1.4	2.0	3.8		0.7		
	輸出(yoy)	34.0	6.2	7.6	4.8	10.5	6.2	9.1		2.7	15.6	
	輸入(yoy)	27.5	10.1	1.9	1.5	2.2	0.8	6.8		8.0		
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.9	7.0		0.5	2.2	2.2	2.2				
	外貨準備高(10億ドル)	62.4	75.3	83.8	76.1	76.1	82.0	83.8	84.1	85.3	83.6	84.1
雇用	失業率(%)	7.4	7.4	7.2	7.2	6.9	7.0	6.8	7.1			
物価	消費者物価(yoy)	3.8	4.7	3.1	3.1	2.9	3.5	3.0	3.2	3.0	3.4	3.2
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	10.6	6.3	10.6	5.6	7.1	7.5	10.6		10.2	9.9	
	株価指数(総合)	4,201	4,372	5,813	5,108	5,246	5,346	5,813	6,847	6,243	6,721	6,847
	インターバンク(3ヵ月,%)	3.77	2.52	2.33	3.36	3.38	1.77	0.83		0.28	0.60	
	為替レート(ペソ/ドル)	45.1	43.3	42.2	43.0	42.8	41.9	41.2	40.7	40.7	40.7	40.7
	為替レート(円/ペソ)	1.94	1.84	1.89	1.84	1.87	1.88	1.97	2.27	2.18	2.29	2.33

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

【シンガポールの主要経済指標】

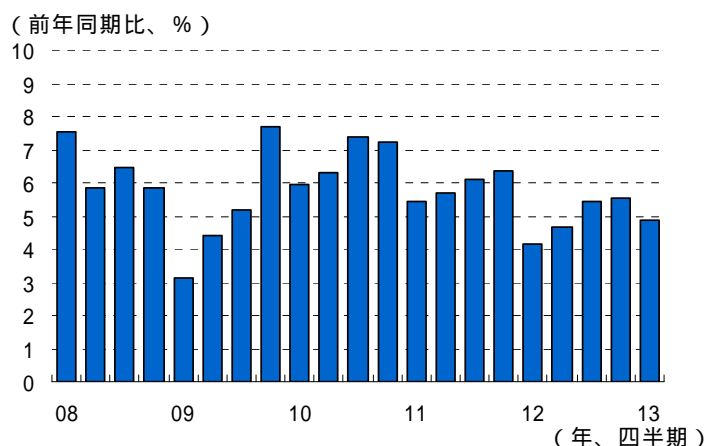
		2010年	2011年	2012年	12/10	12/20	12/30	12/40	13/10	13/1月	13/2月	13/3月
GDP (yoy)	実質GDP	14.8	5.5	1.3	1.5	2.3	0.0	1.5	0.6			
	民間消費	6.2	4.6	2.2	4.7	1.6	0.5	2.0				
	総固定資本形成	7.0	5.8	6.6	23.7	3.7	3.8	5.8				
生産	鉱工業生産(yoy)	29.7	7.8	0.3	1.1	4.2	1.4	0.2		0.1	16.6	
消費	小売売上金額(yoy)	0.3	4.2	2.4	13.5	1.9	1.4	1.3		2.0		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	40.8	43.8	28.6	7.1	6.7	8.7	6.1		1.5	2.0	
	輸出(yoy)	30.6	16.5	0.2	5.9	0.6	5.9	0.0		6.5	18.5	
	輸入(yoy)	26.7	17.7	3.9	11.7	2.6	3.0	4.9		4.9	13.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	62.0	65.3	51.4	14.1	13.1	13.6	10.5				
	外貨準備高(10億ドル)	225.8	237.7	259.3	243.6	243.4	252.1	259.3	258.2	258.8	259.1	258.2
雇用	失業率(季調値,%)	2.2	2.0	2.0	2.1	2.0	1.9	1.8				
物価	消費者物価(yoy)	2.8	5.2	4.6	4.9	5.3	4.2	4.0		3.6	4.9	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	8.6	10.0	7.2	9.7	6.5	6.1	7.2		8.5	9.7	
	株価指数(STR)	3,190	2,646	3,167	3,010	2,878	3,060	3,167	3,308	3,283	3,270	3,308
	インターバンク金利(3M,%)	0.56	0.41	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
	為替レート(S\$/ドル)	1.36	1.26	1.25	1.26	1.26	1.25	1.22	1.24	1.23	1.24	1.2
	為替レート(円/S\$)	64.3	63.4	63.8	62.6	63.4	63.0	66.3	74.5	72.5	75.2	76.1

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

4. ベトナム経済の概況

- ベトナム経済の成長テンポは緩やかである。2013年1-3月期の実質GDPは前年同期比4.9%増にとどまった。産業別には、農林漁業が2.2%増、工業が4.9%増、サービス業が5.7%増であった。なお、年初来ではなく四半期ごとのGDPの伸びと比較すると、12年7-9月期（5.4%増）以来の低水準であった。
- 直近の月次指標をみると、企業部門では、3月の鉱工業生産が前年同月比5.6%増と、1-2月期平均（5.5%増）からほぼ横ばいの伸びとなった。一方、家計部門でも、3月の小売売上高が年初来ベースの前年比で11.7%増と、2月（同10.9%増）と同様に緩やかな拡大にとどまるなど、消費の増勢は力強さを欠いている。
- 他方で物価は落ち着いている。3月の消費者物価上昇率は前年同月比6.6%と2ヶ月連続で鈍化した。項目別には、医療費の大幅な引き上げの動きを受けた「医療品・保健医療（55.4%）」の騰勢が目立つ。一方で、物価全体への影響が大きい食品類は1.8%の低水準であり、物価の安定に貢献している。

13年1-3月期の実質GDPは前年同期比4.9%



(注) 年初来累計 (ytd) ベース
(出所) ベトナム国家統計局 (GSO)

【ベトナムの主要経済指標】

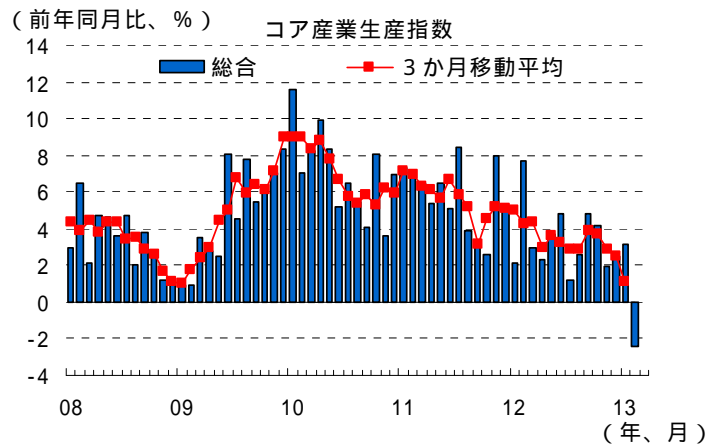
		2010年	2011年	2012年	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/1月	13/2月	13/3月
GDP (yoy)	実質GDP	6.8	6.0	5.0	4.0	4.4	4.7	5.0	4.9			
	農林業	2.8	4.5	2.7	2.8	2.8	2.5	2.7	2.2			
	工業・建設	8.9	4.3	4.5	2.9	3.8	4.4	4.5	4.9			
生産	鉱工業生産(yoy)	10.7	6.7	7.0	8.7	7.4	6.7	5.2	5.5	21.1	10.1	5.6
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	24.5	24.2	16.0	21.8	19.5	17.3	16.0	11.7	8.1	10.9	11.7
輸出入	貿易収支(10億ドル)	12.1	8.9	2.0	0.3	0.2	0.8	1.0	0.4	0.8	0.1	0.3
	輸出(yoy)	26.7	33.1	20.0	28.3	23.4	13.1	17.8	19.1	61.7	13.9	16.0
	輸入(yoy)	21.6	24.4	7.9	7.8	9.6	6.8	7.4	19.1	54.5	15.6	24.8
国際収支	経常収支(10億ドル)	4.3	0.2									
	外貨準備高(10億ドル)	12.1										
物価	消費者物価(yoy)	9.2	18.6	9.3	16.0	8.6	5.6	7.0	6.9	7.1	7.0	6.6
金融	株価指数(VN index)	484.7	351.6	413.7	351.6	441.0	422.4	392.6	413.7	479.8	474.6	491.0
	プライムレート(翌日物:期末)	8.17	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	18,655	20,547	20,828	20,811	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828
	為替レート(円/100ドン)	0.47	0.39	0.38	0.77	0.79	0.80	0.79	0.81	0.43	0.45	0.46

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%), ytd=年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・ インド経済は低空飛行が続いている。企業部門では、2月の鉱工業生産が前年同月比0.6%増と勢いが再び鈍化し、また同月のコア産業生産も同2.5%減と単月では05年7月(同0.2%減)以来の前年割れに陥るなど、生産の回復力が弱い。家計部門でも、3月の新車(乗用車)販売台数が前年同月比13.0%減と前月(同16.7%減)に続いて前年比2桁マイナスとなるなど、個人消費の低迷が続いている。
- ・ 物価動向をみると、3月の卸売物価上昇率(WPI)は前年同月比6.0%と2ヶ月連続で低下した。工業製品や食品価格の伸びが鈍化し、WPI全体の上昇を抑えたかたちとなった。消費者物価(CPI)の動きは依然高止まっているものの、経済全体の物価上昇ペースは緩やかな減速基調にあると判断される。
- ・ こうした中でインド準備銀行(中央銀行)は、3月の金融政策決定会合で、政策金利(レポ金利)を0.25%引き下げて、年7.50%とした。利下げは前回1月に続いて2回連続である。一方で現金準備率は4.00%に据え置いた。

勢いに欠ける生産(コア産業生産指数)



(注)セメント、電力など7産業の生産動向を示す
(出所)経済諮問委員会

【インドの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/10	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/1月	13/2月	13/3月
GDP (yoy)	実質GDP	9.7	7.5	5.0	5.1	5.5	5.3	4.5				
	農業生産	6.6	5.2	1.8	2.0	2.9	1.2	1.1				
	実質GDP(年度)	9.3	6.2									
生産	鉱工業生産(yoy)	9.7	4.8	0.7	0.6	0.3	0.4	2.2		2.4	0.6	
消費	新車販売台数(yoy)	30.9	5.7	10.3	15.8	9.1	4.2	11.1	11.4	4.6	16.7	13.0
輸出入	貿易収支(10億ドル)	123.9	161.6	198.4	46.6	41.9	50.7	59.3		20.8	14.9	
	輸出(yoy)	37.3	33.8	4.1	3.2	4.4	11.4	3.6		2.1	4.2	
	輸入(yoy)	36.2	32.6	5.3	24.7	6.2	1.0	7.1		6.3	2.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	52.2	62.8	0.0	21.8	16.7	22.8	32.5				
	外貨準備高(10億ドル)	267.8	262.9	261.7	260.1	256.7	260.0	261.7	259.7	261.7	257.9	259.7
物価	卸売物価(yoy)	9.6	9.5	7.5	7.5	7.5	7.9	7.3	6.5	7.3	6.8	6.0
	消費者物価(yoy)	12.0	8.9	9.3	7.2	10.1	9.8	10.1		11.6	12.1	
金融	マネーサプライ(M3, yoy)	18.7	16.0	11.2	13.1	15.6	13.4	11.2	13.6	12.7	12.4	13.6
	株価指数(BSE Sensitive)	20,509	15,455	19,427	17,404	17,430	18,763	19,427	18,836	19,895	18,862	18,836
	TB3ヶ月	5.51	8.06	8.41	8.94	8.37	8.17	8.17	8.07	7.94	8.10	8.19
	為替レート(ルピー/ドル)	45.8	46.9	53.6	49.9	55.1	54.7	54.5	53.8	53.3	53.8	54.4
	為替レート(円/ルピー)	1.90	1.69	1.49	1.59	1.44	1.43	1.52	1.72	1.70	1.72	1.73

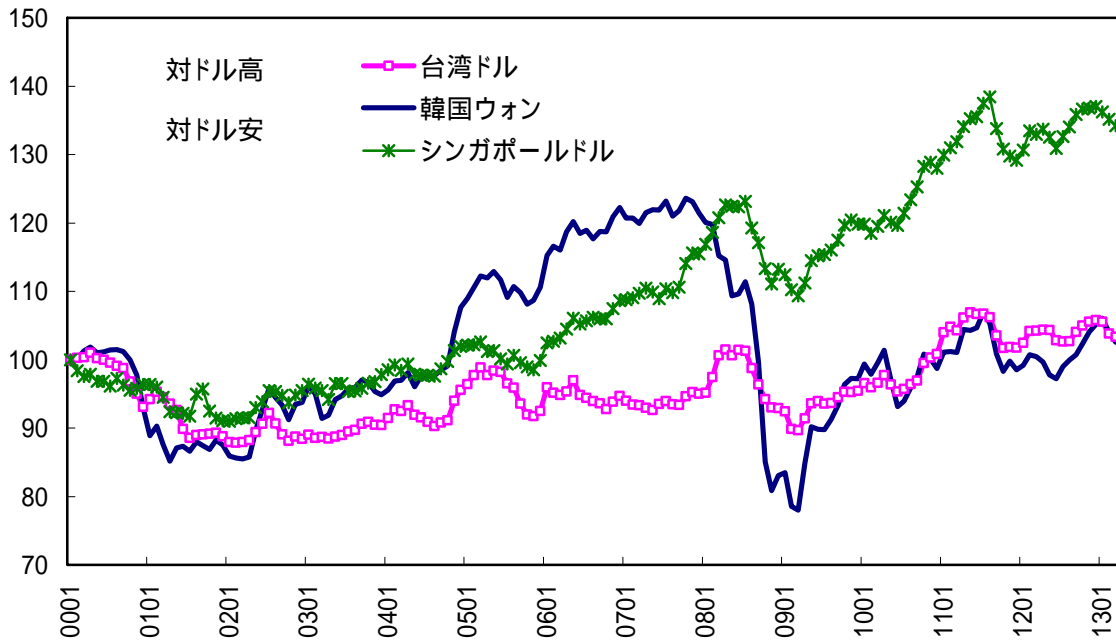
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。

・アジア通貨・株価動向

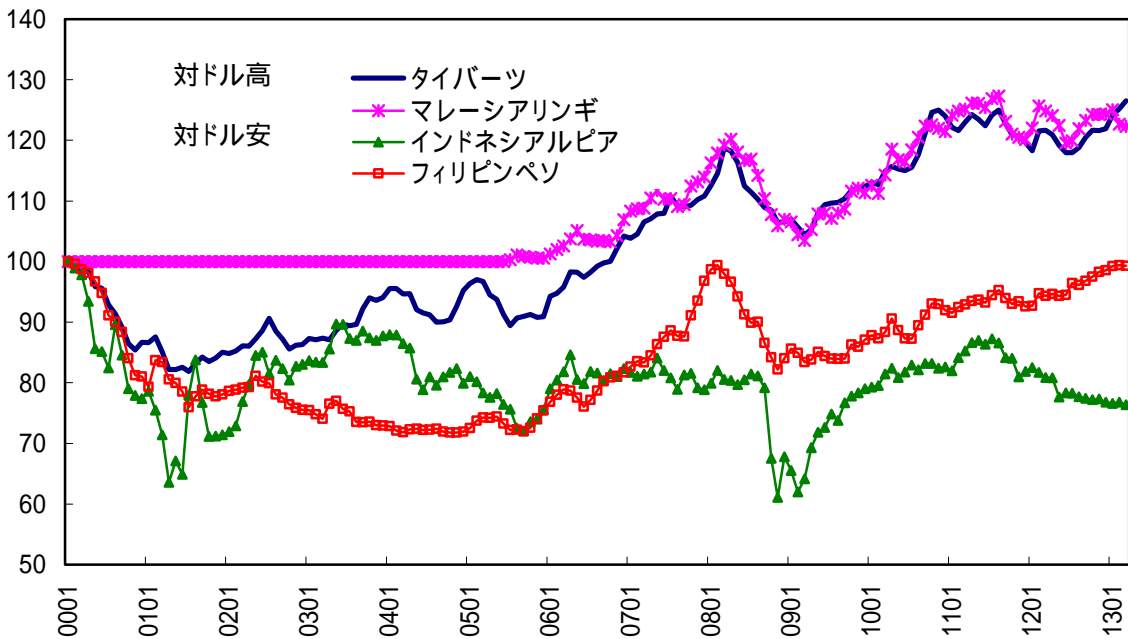
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

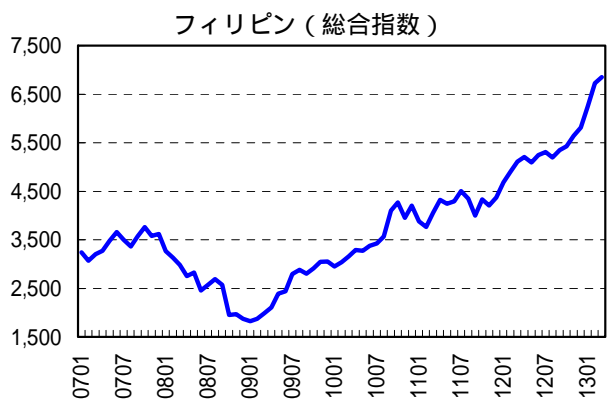
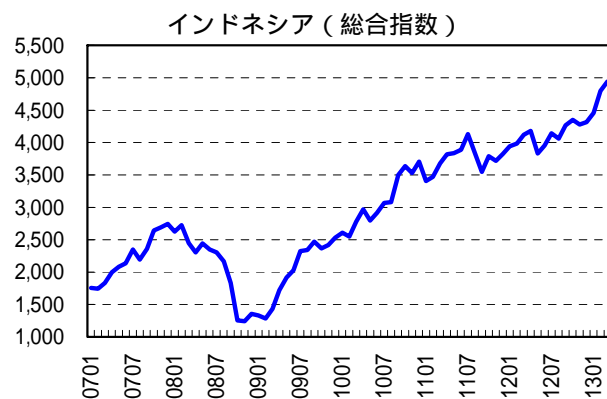
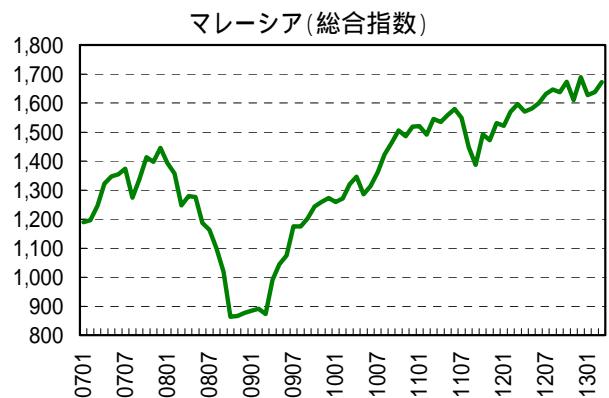
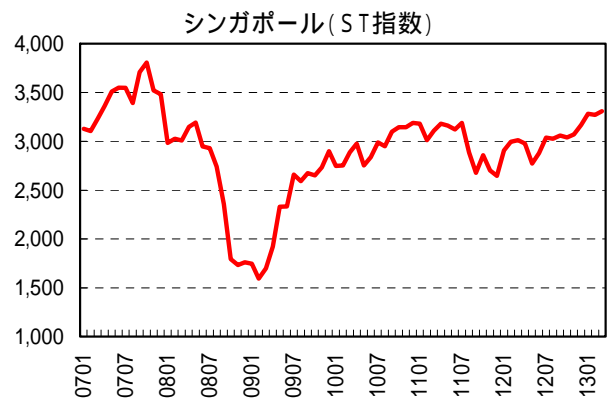
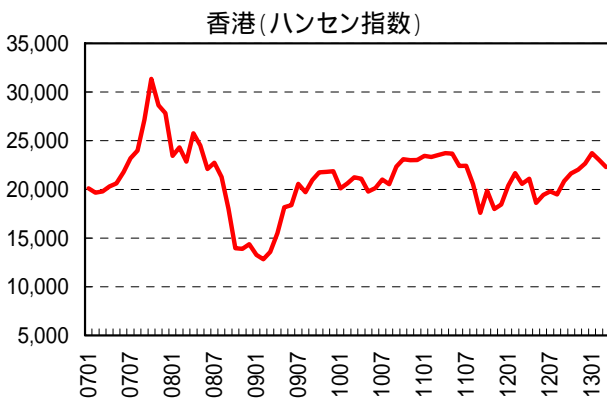
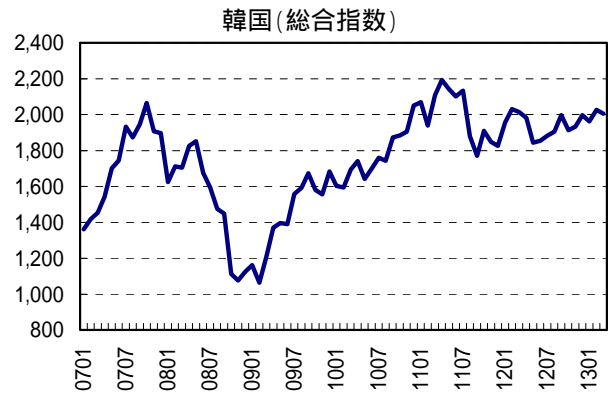
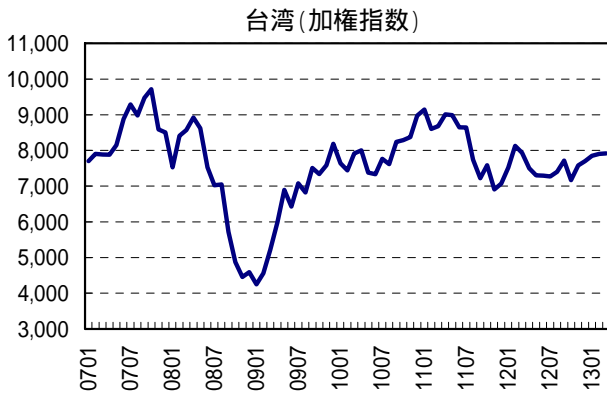


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。